

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：老人福祉費

事業名 高齢者福祉施設感染対策人材確保支援費 (地域医療介護総合確保基金(介護分))

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 高齢福祉課 事業者指導係 電話番号：058-272-1111 (内 2600)

E-mail：c11215@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 6,661 千円 (前年度予算額：6,661 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	6,661	0	0	0	0	0	6,661	0	0
要求額	6,661	0	0	0	0	0	6,661	0	0
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

介護施設においては、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる症状の利用者や、陽性判定後であっても入所を続けざるを得ない利用者に対し、介護サービスの提供を継続する必要がある。そうした際には、職員も感染の疑いがある中で、サービス継続のための人材確保が重要な課題となる。

そのため、各介護施設間で、介護職員等の人材を相互に派遣し、感染発生時の人材確保を支援する対策を行う。

(2) 事業内容

入所施設において感染が発生した際、介護サービスを継続するための応援人材を施設間相互に確保できる事前の体制整備及び発生時の連絡調整を各業界団体に委託する。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：県 10/10

県負担：国 2/3、県 1/3（地域医療介護総合確保基金（介護分））

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	6,661	施設間の体制整備、発生時の連絡調整
合計	6,661	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

全都道府県（令和3年4月末時点）が、同様の支援体制を構築済みもしくは構築中。

(2) 事業主体及びその妥当性

県内高齢者福祉施設の感染管理、感染予防対策の指導等については県が主体となり統一的に行うことが妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 介護サービスを継続するため、応援人材を施設間相互に確保できるよう事前の体制を整備する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
						%
						%
						%

○指標を設定することができない場合の理由

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施する事業であり、指標の設定には馴染まない。

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>高齢福祉サービスは利用者やその家族の生活を継続する上で欠かせないものであり、施設の感染対策の一層の強化を図ることが必要。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 新型コロナウイルス感染症の拡大・まん延状況に応じて、更なる感染拡大防止策が必要となる。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえ、柔軟に対応していく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	【〇〇課】